

ナイロビ宣言：概要

～アフリカの持続可能な開発アジェンダ促進～ 繁栄のためのTICADパートナーシップ～

ナイロビ宣言

平成28年8月
TICAD VI事務局

冒頭

- 初のアフリカ開催をアフリカのオーナーシップの高まりの表れとして歓迎
- TICADの特徴を確認(アフリカ自身のアジェンダに寄り添う;人間の安全保障を尊重し、一人ひとりに着目;効果的な実施とフォローアップ等)

現状分析、優先分野(3つの柱)と分野横断的な課題

●2013年以降の進展や新たな課題を確認。取り組むべき優先分野(3つの柱)を表明

① 国際資源価格の下落

⇒ 経済多角化・産業化を通じた経済構造改革の促進
(質の高いインフラへの投資, 民間セクターの役割, 人材育成促進等)

② エボラ出血熱の流行

⇒ 質の高い生活のための強靱な保健システム促進
(公衆衛生危機への対応能力の強化, 危機の予防・備えにも資するユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)の推進)

③ 暴力的過激主義の頻発

⇒ 繁栄の共有のための社会安定化の促進
(若者・女性のエンパワーメント, 平和構築, 暴力的過激主義対策, 気候変動や海洋安全保障, 国連安保理改革)

●分野横断的な課題を確認

若者・女性・障害者のエンパワーメント, 科学・技術・イノベーション, 人材育成、官民連携, 民間セクター及び市民社会, 政府機関やグッドガバナンスの強化

今後の進め方

- 横浜行動計画2013—2017は, TICAD VIIまで有効とし, 引き続き実施する。
- 本宣言に掲げる新たな進展や課題に対応するため, ナイロビ実施計画を進める。
- ナイロビ実施計画は, 延長された横浜行動計画と一体をなす。
- 次回TICADは2019年, 日本にて開催する。

ナイロビ実施計画

①経済多角化・産業化を通じた経済構造改革の促進

→広域開発, フード・バリューチェーン(FVC), 質の高いインフラを活用した都市開発やエネルギー開発, 生産性向上, ビジネス環境整備, 産業人材育成, 官民パートナーシップ 等

②質の高い生活のための強靱な保健システム促進

→サーベイランス能力向上含む公衆衛生危機への対応強化, UHCに向けた政策策定支援, 医療人材・保健政策人材育成, 予防接種・R&Dを含む医療サービスの質向上, 母子継続ケアの推進, 栄養改善 等

③繁栄の共有のための社会安定化促進

→若者, 紛争下における女性, 難民・国内避難民などの脆弱な人々への支援・エンパワーメント, 国家等の基礎能力向上, 気候変動・防災, 食料安全保障, 海洋安全保障, 国連安保理決議の遵守 等